



それぞれの街の姿は、そこで生活を営んできた人々の「文化的価値観の写し」そのものであるとよく言われます…。

今年から「こまつまちなみ景観賞」が設けられることになり、より一層の快適な生活空間を形成していく上で、また、市民一人ひとりが自分たちの街並みに対して誇りと自信を深めていく上で大変望ましいことだと思います。

推薦のあったものは、民間の一般建築、住宅、公共建築から、小公園や遊歩道などの屋外空間までたいへん幅広く、市民の皆さんの関心の高さ、景観に対する理解の広がりを十分に感じさせるものでした。特に、身近な個人住宅にも景観的な配慮を図ったものが多く、生活空間への日常的な当然な心配りとして市民の皆さんに認識されつつあることを改めて実感いたしました。

この賞がさらなる小松固有の街並みづくりとまちづくりへの関心を高めてゆく切っ掛けになることを願っています。

選考委員長 森 俊 偉

第1回（平成11年度）こまつまちなみ景観賞受賞物件

① 仙叟屋敷ならびに玄庵・露地・庭園

小松市丸の内公園町19番地

所有者 小松市(小松市教育委員会)

設 計 裏千家15代家元 千 宗室、(有)岩谷庭苑

施 工 中村外二工務店、(有)天岩屋造園、(有)岩谷庭苑

周辺環境との一体化

緑多い芦城公園の環境にとけ込んだ静かなたたずまいを形づくっています。芦城公園と連続的に一体化した露地の配置と造作、通りに面する建物や生け垣の心地良いプロポーションの整えと構成。周辺景観の魅力度の増幅に十分寄与しています。



② 小松郵便局

小松市園町ハ128番地1

施 主 北陸郵政局

設 計 北陸郵政局施設部

施 工 (株)フジタ北陸支店

街に開放された表情がいい

表通りに沿って低く水平に延びるファサード(建物の前面)を形成し、周辺のスケール感と同調した圧迫感のない建物となっています。ガラス面の多い開放的な作りは、建物内部と通りのにぎわいを一体化し、街の活性化にも効果を上げており、サインや看板類もよく整えられています。

